




神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

くさか景子の

No. 77
県議会報告
2013
10月号

ちょっと

よろしいですか!



民主党

かながわシェイクアウト！みんなで地震をやっつけろ！

— 9月5日 県内一斉防災行動訓練実施 —

県では、「地震災害対策推進条例」を今年4月に施行し、対策をより強化しました。大規模地震が起きたときに被害を最小限にするためには日頃からの一人ひとりの意識が大切です。条例では、特に、第一義的には、自分の身は自分で守るという自助の取り組みが重要であるとしています。

9月5日の県内シェイクアウト訓練には、予想の3倍の63万人の参加登録があり、幼児からお年寄りまで、多くの方が、ドロップ・カバー・ホールドオンのシェイクアウト訓練を行い、参加しやすく自身を守ることの大事さを学びました。茅ヶ崎市でも、市役所をはじめ、市内小中学校、保育園幼稚園の子どもたちを含め17,315人が参加しました。

県では、自助の重要性のきっかけづくりとし、来年のシェイクアウトにも繋げたいとしており、日頃の防災への意識づくりの一端になったと思います。

安全行動の1-2-3



- ①ドロップ:姿勢を低く!
- ②カバー:体・頭を守って!
- ③ホールド・オン:揺れが収まるまでじっとして!

報告

JR 東日本の政策フォーラムに参加して

今年の3月10日、私はJR東日本の組合員の皆さんと、地震時、列車から乗客を安全な所に避難させるシミュレーション調査に同行しました。その時のまとめの発表会があり参加しました。災害に強い鉄道づくりとして、海岸近くを走る東海道線からの脱出・避難誘導の課題や提言を津波避難マップにまとめ、今後は会社への提言と併せて、市や県にも提案の予定と聞き、対策が進むことを期待します。



政策フォーラム



災害時の避難誘導のための東海道線近隣を調査



海岸侵食調査に参加して

9月7日の海岸侵食の視察では、湘南海岸の大きな問題について認識することができました。約50年の間で、大幅に砂浜が減少してしまい、海岸の景観が損なわれ、また、高潮や津波の影響を受けやすくなってしまっているとのことでした。実際に見てみると、砂浜がとても短い場所が所々あり、いわゆる「浜崖」というものがあちこちで見受けられます。

この原因は、ダム建設の影響が大きく、本来海に注ぎ込まれるはずの土砂が減少してしまったことだといえます。しかし、ダムは私たちの生活において大切なものでもあるので、どちらが大切かというのはとても大きな問題だと思います。

湘南地域にずっと暮らしていましたが、この視察で初めて海岸侵食の問題を学び、こんなにも深刻な問題が身近にあったことを実感しました。

議員インターン 瀧田遥奈



平塚沖海洋観測塔



海から見た茅ヶ崎海岸侵食状況



くさか景子のほっとコラム

「茅ヶ崎の河童徳利伝説はご存知ですか？」

そもそも河童って何でしょうか？沼、川、池など水辺に住む生き物？キュウリが好き？全国に河童にまつわる伝説は分かっているだけで77か所だそうです。

一番有名なのは岩手県遠野町の柳田國男の「かつば淵」。神秘的な所で、いかにも住んでいそうです。

さて、茅ヶ崎では、新湘南バイパス建設に際しての調査で、西久保地域に、古墳時代の集落の遺跡が発見されました。歴史的背景から、西久保には多くの知識人が存在し、いろいろな物語が生まれてきました。この付近で有名だった小出川と大山街道が交差する場所に茶屋があり、旅人が広め、残されました。この大曲橋のたもと付近は、民話「河童徳利」の発祥の地と伝えられています。

●●●民話 河童徳利●●●

昔、五郎兵衛が間門橋のたもとで馬を洗っていると河童が馬の尻に噛みつき、村人が生け捕りにした。しかし、哀れに思い五郎兵衛は河童を逃がしてやった。その後、河童が現れていくらでも酒が出る徳利をお礼に差し出し、「底を3回たたくと酒は出なくなります」と言い帰った。五郎兵衛はすっかり酒浸りになったが、あるとき痩せた馬を見て、徳利の底を叩き、また、働き者になったとさ。

